

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社 中国銀行		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 700-8628 岡山市北区丸の内 1 - 1 5 - 2 0	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	62	業種名：銀行業		
事業の概要	銀行業（総合金融サービス）、従業員2,725名（出向者除く）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	芳賀CHビル			
	②	本店ビル		岡山市北区丸の内1-15-20	
	③	事務センター		岡山市中区平井3-1046-1	
	④	岡山駅前支店		岡山市北区本町2-5	
	⑤	大供支店		岡山市北区柳町2-11-23	
	⑥	東本館		岡山市北区丸の内1-14-17	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      146 所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

温室効果ガス排出量	基準年度（平成 28 年度）	( 令和 3 ) 年度排出量	目標年度( 令和 3 年度)
	13,822 t CO <sub>2</sub>	9,637 t CO <sub>2</sub>	13,130 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	( 令和 3 ) 年度排出量
	①	芳賀CHビル	2,436 t CO <sub>2</sub>
	②	本店ビル	1,619 t CO <sub>2</sub>
	③	事務センター	561 t CO <sub>2</sub>
	④	岡山駅前支店	532 t CO <sub>2</sub>
	⑤	大供支店	300 t CO <sub>2</sub>
	⑥	東本館	207 t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 29 年度 ～ 令和 3 年度 ( 5 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 3 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	28.6 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 建物延床面積	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 3 ) 年度	目標年度
		0.09457 t CO <sub>2</sub> /( m <sup>2</sup> )	0.06753 t CO <sub>2</sub> /( m <sup>2</sup> )	0.08983 t CO <sub>2</sub> /( m <sup>2</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 3 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・芳賀CHビルにおいて、2020年3月よりホスト更改に伴い、新旧ホストが並行稼働を要因として電気使用量が増加。  
 ・一方、本店・営業店において、照明のLED化、老朽化した空調設備の更新、ビジネスカジュアル導入し適切な室温管理の厳正化など、省エネに配慮した行動を徹底し、省エネ法に基づく年平均1%以上の温室効果ガス排出削減に取組み、目標達成となる。  
 ・今後においても、設備更新や省エネに配慮した行動により、温室ガス排出削減に取り組む方針。

**【推進体制】**

- ・エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者を中心としたエネルギー管理体制を整備。
- ・エネルギー使用量の多い本店ビルや芳賀CHビルは、ビル管理業者に対しても省エネに配慮した運用を要請し協力を得ている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
<b>【令和3年度実施分】</b> 全店舗  照明設備更新  空調設備更新  <b>【今後実施予定分】</b> 店舗5か店程度	<b>【令和3年度実施分】</b> 全店舗 <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房使用時の室温管理の徹底（夏季28℃、冬季20℃）</li> <li>・不要な照明の消灯徹底</li> <li>・パソコンの省エネモード設定</li> <li>・機器の夜間待機電力削減</li> </ul> ・岡山西支店について、照明器具をLED化  ・総社支店、玉島支店、北房支店、円山支店にて空調設備更新  <b>【今後実施予定分】</b> ・照明器具のLED、空調設備の更新

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

○冷暖房使用時の室温管理の厳正化（冷房28℃、暖房20℃）、週1回ノー残業デーの設定、などによりエネルギー使用量削減を実施。

※芳賀CHビルのCO2排出量増加要因（令和元年度2,239t → 令和2年度2,645t → 令和3年度2,436t）。

- ・令和3年度は、前年度対比で減少するも、令和元年度対比+197tと増加している。
- ・当行は、基幹系システム共同化（TSUBASAアライアンス）しているが、2行（東邦銀行、北洋銀行）増加に伴い、R2年3月よりシステム増強を実施。R2年3月～R4年12月までは移行作業期間であり、現行システムと次期システムが並行稼働しているため電気使用量増加している。
- ・必要不可欠なシステムでありR4年12月まで増加するが、R5年1月以降は減少見込み。